

東京のりもの学会の開き方

東京のりもの学会は10回目の開催を迎えることが出来ました。これまで安定した開催を続けることが出来たのもひとえに開催に協力していただいた出展サークル、参加者の皆様のおかげですが、ここでは、主催団体のQDATが東京のりもの学会をどうやって運営しているのか、またどういふことをポイントにしているのかを、各スタッフが述べてみたいと思います。

	項目		項目
5月	終了後反省会 次回方針決定	当日	当日パンフ、ポスター、看板類搬入
6月	前回アンケート集計、会計決算 報告書作成、検討		当日パンフはその場で折込を行う場合あり 会場開扉、サークル入場開始
7月	会場確保・日程決定		机・椅子の配置
8月	夏コミにて次回日程発表、挨拶回り Webにて開催決定リリース		出展参加サークル受付開始、追加椅子受付 当日アンケート(出展サークル)配布
11月	参加サークル募集日程決定 出展参加案内(仮)作成 コミティアにて出展参加案内配布、挨拶回り 出展参加案内イラスト依頼		印刷会社当日搬入受付 現地受取宅配便受取 看板、ポスター類掲出 当日参加者行列規制開始
12月	出展参加案内印刷発注 鉄道雑誌、旅行雑誌各社へ参加サークル募集の公式リリースを発送 要項にあわせ参加サークルオンライン参加申込受付システムを修正 冬コミにて出展参加案内を配布 (前日ビラ配り、当日挨拶回りで配布、当日スペース来訪者に配布)	開会	開会アナウンス 入口開放、当日パンフ及び当日アンケートを全入場者に配布 会場巡回、記録 身障者対応 閉会前に宅配便発送の用紙配布 当日アンケート回収
1月	オンライン申込受付システム公開、参加サークル受付開始 一部同人誌販売書店、及び印刷会社に出展参加案内の配布委託依頼	閉会	閉会宣言 出展参加サークル片付け開始 ポスター、看板類撤収 宅配便発送を受付、集積 机、椅子撤収、会場掃き掃除 参加サークル撤収確認 閉扉・施錠 全荷物を撤収、反省会会場へ
2月	コミティアにて出展参加案内を配布 当日ポスター、当日パンフ表紙作成依頼		
3月	鉄道雑誌、旅行雑誌各社へ開催の公式リリースを発送 出展参加申込受付締切 会場レイアウト、サークル配置検討、決定		
4月	当日パンフ編集、印刷発注 当日アンケート編集、印刷発注 出展参加サークルへ当日出展マニュアルを発送 当日ポスター出力 当日スタッフ決定、役割分担		

東京のりもの学会開催カレンダー

東京のりもの学会の1年は、前回開催直後の反省会から始まっています。このときには次回開催の大まかな方針が決まります(ここ数回はルーチンに近かったのですが…)。7月に会場確保・日程の確定を行い、8月の夏コミが開催の告知になります。11月のコミティア前に出展参加要項を確定、12月の冬コミで本格的な広報が始まります。年明けとともに出展参加者募集開始、3月末頃の締切とともに会場レイアウト、配置がほぼ固まります。あとは当日に向けて細々とした準備をする事になります。

当日は、椅子、机の設営・撤収などで参加サークルのご協力を頂いており、これによって少ないスタッフでもなんとかやっつけていけている感があります。この場を借りまして深く感謝します。

会場関係の手続き

即売会を開催するためにはとにかく最初は会場を確保しなければなりません。会場も日程も未定のままでは即売会の周知を行うことは不可能です。

東京都区内で百～数百スペース程度の規模の同人イベントによく使用される会場としては都立産業貿易センター（浜松町館、台東館）、大田区産業プラザ PiO（蒲田）、損保会館（御茶ノ水）などが代表的ですが、東京のりもの学会では2002年開催の第5回以降、都立産業貿易センター浜松町館を使用しています。この理由としては規模の割に使用料がリーズナブルであるというほか、新幹線（東京駅、品川駅）、飛行機（羽田空港）いずれの利用にも便利で、地方からの参加者の利便性が高いという事もあります。本稿は都立産業貿易センター浜松町館に特化した内容が大半であり、PiO や損保会館など他の会場では当てはまらない内容も多くなっておりまますので、ご注意ください。

都立産業貿易センター（以下、都産貿）は本来、中小企業の見本市・展示会などを行うための施設です。従って同人イベントという用途では会場側としては優先順位が低く、これに使える日程は中小企業の展示会等の希望が無かった日祝日に限られます。

同人イベントについては毎年7月中旬頃に翌年度分についての受付・調整会が行われます。この時に同人イベントとして使用可能な日程が提示され、参加者からの希望を取った上で調整が行われます。この時に日程が確定すれば、この場で利用申請書を提出し、後日送付される利用承認書・請求書に従って予納金（会場使用料の2割程度）を納付することにより予約が確定します。なお、この予納金はキャンセルの場合にも返却されません。

東京のりもの学会では主催団体である QDAT が自ら会場を借りていますが、都産貿で開催されるイベントでは一つの主催団体が会場の複数フロア（場合によっては全館）を確保し、それを複数のイベントに分配するというやり方もよく行われます。従って同人イベントを主催するには必ずしも自ら会場を確保するという必要は無く、そのような団体にコネクションがある場合にはそのような方法を探れるでしょう。

その他の提出書類については利用日の約2か月前に送付されてきますが、「催物のあらましと利用内容」「荷扱場利用計画書」「装飾等施行申請書」などがあります。利用料の残金を支払うのと併せてこれらを期限までに提出し、最終的に「開扉証」を受け取ることとなります。また、イベントの終了後には机・椅子・電気の使用料の精算（実費）が行われます。都産貿以外の会場では会場費の他に空調費が別途必要となることもあるようです。

なお、都立産業貿易センターでは平成18年度からの指定管理者制度導入に伴い、手続きなどに若干の変化が見られ、今後も変化の可能性がありますので、詳しくは会場側からの指示に従うようにして下さい。

都立産業貿易センター WWW サイト <http://www.sanbo.metro.tokyo.jp/>

広報

東京のりもの学会の広報は、基本的に同人誌即売会会場での宣伝が主体です。夏と冬のコミックマーケット、及び11月・2月のコミティア、そして春の大阪での「おでかけしよーよ！・のりものコミュニティ」を中心に、QDATとして出来る限りサークル参加しています。QDATが同人誌即売会にサークル参加する最大の理由がこの広報であるとさえ言えます。

各即売会では広報担当が鉄道・旅行・ミリタリー(609)および評論・情報(106)ジャンルを中心に、旅行記を出しているようなサークルに片端から挨拶し、夏なら開催決定のチラシを、冬なら出展参加案内を配布して「顔つなぎ」をしています。コミケットでは東館と西館を行き来して合計200以上のサークルを巡ったり、コミティアでは全サークルをチェックするなど大変です。また、冬のコミックマーケットでは、評論や創作ジャンルを中心に、前夜に出展参加案内の配布の作業も、数人で手分けして行っています。といっても合計で3000枚くらいですが…。他ジャンルのサークルさんが、旅行記を出すことに興味を持っていただけるように…。個人的には、会場での挨拶、「顔つなぎ」こそが、主催として、およびのりもの学会全体の信用と継続性の鍵になってきたと考えています。

また、東京のりもの学会では、より多くの興味をお持ちの方に来ていただく事を目標として、鉄道雑誌へのリリースを行ってきました。1月発行号には出展参加サークル募集のため公式リリース文と出展参加案内（前回の模様の写真を加えることも）を、開催直前の発行号には一般参加の案内を、鉄道雑誌出版社、旅行雑誌出版社計8～10社に送付していますが、掲載される場合も、されない場合もあります。本当はバスや航空、船舶の雑誌にも出したかったのですが、リリースを載せるコーナーがなかったり、ミリタリー系だったり、雑誌がマイナーすぎたり…などといった理由から、実現していません。

この他、出展参加案内を印刷会社やとらのあな等の同人誌販売店に置いて頂いたり、Webでのリリースやケットコム等の即売会データベースへの登録、冬コミカタログへの広告掲載等も行っています。

ちなみに、広報業務の一環として「出展参加案内」と「当日パンフ」「当日ポスター」の作成も行っています。

東京のりもの学会では、出展参加案内だけでなく当日パンフも無料配布としているため、これらはモノクロ印刷としています。こちらへんはイラストだけで勝負となる他のオンリー即売会とは大きく違う点ですね。でも、いつもすてきなイラストを描いて頂き、救われて来た面が大きいです。これらについては巻頭特集をご覧ください。

申込受付

参加費は、初期の頃は会場費÷スペース数をベースに決定していましたが、何回か開催するうちに事務関係費も積算できるようにになりましたので、現在はその1.5倍くらいの計算で設定しています。この手の展示即売会としては格安の部類に入るようですが、当日パンフを簡素化していることでこの参加費を実現しています。当日パンフを有償とする場合にはまた違った積算となってくるものと思われます。

申込みの受付は年が変わる1月1日からスタートします。冬コミなどで配布した出展参加案内に従ってサークルさんが申込みをしてくるので、それに対応していきます。参加費は郵便振替口座（別名のみでの受付が便利です。詳しくは郵便局で問合せして下さい）を作って、そこへの入金をお願いしていました。最近はネットバンキングも発達してきたので、そちらを利用する手もあったかもしれませんが。オンライン申込についてはデータでの申込になるので、入力の手間は僅少ですが、紙での申込についてはデータベースへの入力が必要になります。このデータベースとしてはExcelを駆使しています。このデータベースはいわゆる個人情報になりますので、厳重に管理しています。このデータベースに基づき以前は参加申込み受付メールを出していたのですが、ここ数回は掲示板への書き込みだけでお茶を濁しています。受付メールの作成は非常に手間の掛かる作業であり、申込み最終週にもなると、1日に数十サークルの申込みがあり、受付メールを作るのに4時間以上もかかったこともありました。

これまでにあった困った例をあげるとすれば、以下のようなものがあります。

1. 昔の申込先に加申込みをされた方……転送依頼をかけてあるので、多分転送されてくるのですが。府中から神戸に転送された例もあります。
2. 直接、事務担当宅のポストに申込書を投函された方……ノーコメント。
3. 参加費の払込みの際、通信欄に何も書かれていない方……毎回決まったサークルさんがこれをやられるのですが。
4. 申込書を巨大なレントゲン写真用封筒で送付された方……その他いろいろと参加申込みについて不備があったので、参加自体をお断りいたしました。

オンライン申込受付システム

2003年の第6回より東京のりもの学会でもオンライン申込みが導入されました。参加サークルさんのメリットとしては申込書・サークルカットの郵送が不要、細かい字を申込書に記入しなくてすむと言った点があるものの、結局のところ参加費の払い込みは別途郵便局で通常払い込みを行わなければならない、完全にオンラインだけで手続きが完結するシステムとはなっていません。対して主催側からすると、PC上でコピーできるため紙ベースの申込書からの情報の転記の必要がなくなり事務取扱、当日パンフ担当、Web担当にとっては大幅な省力化となったようです。

東京のりもの学会の申込受付cgiは申込書様式(41ページ参照)を元に専用のものを独自に開発したものです。第6回・2003年会で導入されて以降、基本的には変更は行われていません。

申込フォームから送信された内容のうちフォームに入力された東京のりもの学会申込受付担当にタブ区切りテキストとして送信され、申込受付担当はこれをExcelにCopy-Pasteしています。このタブ区切りテキストの様式(項目の順序)は申込受付担当からの指定に従っています。また、入力された内容はフォームに記入したアドレスにもメールで送信しています。

入力された内容はカット以外はサーバに残らない仕様となっており、個人情報保護の観点からは少し安心になっているかと思われます。

サークルカットのデータはWebサーバに保管されるようになっており、そのような意味ではこの部分はアップローダの一種になっているとも言えるものです。パンフ編集担当はこれらのデータをダウンロードしたうえで、DTPソフトに貼り込んでいます。

上記以上の詳細は、QDATのWebサイトにある鉄っばい本15掲載の「続・QDATサイト管理日誌(重野著)」にもございますので、こちらをご参照いただければ幸いです(<http://www.qdat.jp/library/>)。

ところで、当学会のオンライン申込みシステムはいわゆる自宅鯖上で動いています。設定の柔軟性の点からは自前サーバに優位がありますが、信頼性の点からはレンタルサーバやプロバイダの方がよいかとも思えますが、趣味活動の延長ということで結構いいかげんな運用を行っています(いいのか?)。これは、当学会のオンライン申込みシステムではサーバ上にデータを残さず、申込み情報をそのまま受付担当者に即時メール転送してしまうと言った特徴があり、サーバの無信頼性のカバー、個人情報保護の観点から少しは安心になっているものと考えられます。また、メールサーバを自前で持っているということから、用途によってメールアドレスを自由に作成することが可能であり、サークル・イベントの運営には非常に便利なものでした。

ちなみに、オンライン受付システムからの申込み数ですが、2003年会では94件中38件、2004年会では100件中35件と一旦割合が下がったものの、2005年会では106件中46件、2006年会104件中55件、2007年会131件中86件と今回は6割を超える割合となっており、申込受付手段として浸透しているようです。

会場レイアウト

レイアウトは、入口から見て机が横向きに並んでいるのは会場が狭く感じられるそうなので、縦向きに並べています。島や机の番号は入口から振っていくのが基本だそうです。(配置担当が天邪鬼なのでよく反対のことをします。)

配置は正直、適当です。さいころを振って決めていると言っても過言ではありません。壁に向けてサークルさんを向けて配置するのは禁忌であるようですが、会場スペースには限りがある上に避難通路にはスペースを配置できないという制約もあり、スペース数が増えてしまうとそうも言っていられなくなります。ただし、多大なクレームが出ます。中には、どこそこのサークルさんを視界に入れないように配置してくれという要望が出たりもします。正直言って悲しくなりますが、難しいことでもないので実行します。

配置が確定すると、次は参加マニュアルの送付準備と、当日パンフの作成に入ります。参加マニュアルは、コミティアの参加マニュアルを参考にして作りました。時系列を追ってなるべく分かりやすく記述したつもりですが、初めて参加する方にまで完璧に説明できているとは今でも思っていません。参加マニュアルと併せていわゆるサークルチケットを同封して送付します。出展参加マニュアルについては参考資料として 36-37 ページに掲載しておりますので、ご覧下さい。

当日会場整備

ここでは第5回以降使用している都産貿での会場作りの仕方を書いていきます。

当日の会場作りの流れは、大きく開扉→机・椅子配置→受付→電源確認→追加椅子の配布になります。

最初の机・椅子配置は多くの人手を要するため、スタッフのみならずサークル参加者のご協力を得て実施しています。東京のりもの学会では当日スタッフが極端に少ないため、スタッフは配置の指示出しに徹するようしており、実際の配置作業はサークル参加者の皆さんにして頂くようになっています。

机の配置は、各回の参加サークル数を基に作成した会場レイアウト図に沿って行います。都産貿の場合、サークル用に使用する机は 180cm × 90cm の大きさのいわゆる「都産貿机」で、2階にはこれが 80 台あり (3～5階は南北それぞれの展示室に 80 台ずつ)、収納時は 10 台単位で台車に乗せ、倉庫に収納されています。これを必要数分、台車ごとに会場に搬入します。この際必ず搬入口から離れたところから左右に分散させつつ机の設置を行い、搬入口に近い場所は最後に設置します。これは、搬入口に近いところを先に設置すると後の机の搬入に支障が出た経験に基づきます。ある程度机が出たところで椅子を積んだキャリアを倉庫から出し、椅子を置いていきます。早ければ机・椅子の設置作業は約 20 分程度で完了します。

椅子の追加配布は受付の段階で実施します。机・椅子の使用数を確定させる関係上、基本的な配置が終了してから実施します。机・椅子の使用数は会場側により確認され、後日精算が行われます。

電源については 2階は壁際 6 箇所設置されたコンセントボックスから取りますが、開場・設営の時点では通電されておらず、全ての機器(鉄道模型、デモ用 PC など)を接続し、会場側の確認が行われてから初めて電源が投入されます。

閉会後は参加者の皆様のご協力を得て開会前とは逆の手順で椅子・机を倉庫に撤収後、床のモップ掛けを行った後、会場側の確認が終了後、閉扉となります。

委託頒布

委託参加の場合は、出展参加マニュアル送付の代わりに委託参加マニュアル(38-39 ページ参照)、返送用宅急便伝票、頒布価格シール、納品書(40 ページ参照)の三点も併せて同封して送付します。頒布する本にシールを貼って頒価を書いてもらってから納品されます。納品は当日の会場着宅配便で送付してもらいます。当日、委託担当が検品し、あとは机の上如山積みして頒布するだけです。

委託頒布は NITTETSUREN 様の多大なご協力によって実現されておりました。この場を借りて御礼申し上げます。当学会に来場された方はご存知かと思いますが、電子レジスターを使っており、このため集計作業が大幅に省力化されてきました。

閉会後、頒布数を記録した売上報告書を残部と共に会場から直接、着払いの宅配便で返送してしまいます。後日、送金実費分を差し引いた売上金を郵便振替などで送金して終了です。

「東京のりもの学会」第10回・2007年会 出展参加マニュアル

2007年5月4日(金・祝) 11:00～15:30
東京都立産業貿易センター浜松町館・2階展示室

「東京のりもの学会」への出展参加の際には、このマニュアルを、メンバー全員が熟読の上で参加するようお願いいたします。わからないことがあった場合は、遠慮なく、事前にお問い合わせ下さい。

今回の開催時間は11:00～15:30です。

◆ 今回の同封物

- ① 「出展参加マニュアル」(本紙)
- ② 「会場案内図・サークルガイド」(本紙裏)
- ③ 「出展参加者通行証」(1スペースに3枚)

「サークルガイド2007」を参照して、サークル名・参加形式・合同参加・配置スペースなどを確認して下さい。

内容物の不足や出展内容の不備などがありましたら、お手数ですが、大至急お問い合わせ下さい。

◆ 参加基本規定

「東京のりもの学会」は、公共交通と旅行に関する自主制作誌・自主制作グッズの個人趣味レベルでの合同発表展示即売会です。法人・企業などの出展参加はお断りいたします。「東京のりもの学会」の趣旨をご理解の上、各人の良識のもとに作品の展示・頒布をお願いします。

◆ 出展ガイドライン

以下の物の頒布は原則としてお断りいたします。

- 公共交通と旅行に関する話題を扱っていない物。(頒布物の一部が扱っていればOKです)
- 他人の著作物。(著作権者から直接委託された場合はOKです)
- 著作権法などの法令・条例に著しく違反する物。
- 古本・古雑誌・鉄道部品・中古品・転売品など、古物全般。
- 市販品や、既存の流通ルートを経由して頒布されているなど、市販品と判断される物。
- その他、スタッフが頒布に適当でない判断した物。

◆ 当日タイムテーブル(予定)

9:00	開場／設営
9:30～	出展参加者入場／出展スペース準備
10:00	サークル受付／追加椅子受渡し
11:00	開会
15:30	閉会／後片付け
17:00	閉場

◇ 設営(9:00～)

- 毎回、設営にご協力いただきありがとうございます。今回もまた、無理のない範囲で結構ですので、ご協力をお願いします。
- 設営にご協力いただける方は、当日9:00に、会場2階のラウンジにお集まり下さい。なお、設営の際の入場時にも「出展参加者通行証」が必要です。お持ちでない方は入口スタッフにご相談下さい。

- 会場の鍵は9:00です。それまでは会場に入れません。9:00以前のご来場はご遠慮願います。
- 設営中の荷物は、当日指定する荷物置場に置いて下さい。この荷物置場には貴重品は留置せず、荷物は各自管理するようにして下さい。なお、盗難などについては責任を負いかねます。
- 設営が終わるまで、出展スペースの準備は出来ません。

◇ 出展参加者入場(9:30～10:50)

- 11:00以前の入場の際には、「出展参加者通行証」を、各人が1枚ずつお持ちになり、入場時に入口スタッフにはっきりと提示して下さい。
- 「出展参加者通行証」は、1スペースにつき3枚ずつ発行しています。「出展参加者通行証」を忘れた場合などには、入口スタッフに申し出て下さい。
- 再入場の際にも「出展参加者通行証」の提示が必要です。会場から出る時には「出展参加者通行証」を忘れないようにして下さい。
- 出展参加される方は、なるべく10:30までに入場し、スペースを準備するようにして下さい。どうしても間に合わなかった場合は、入場後すぐに本部受付までお申し出下さい。

◇ 出展スペース準備(9:30～)

- 1スペースは机半分(幅90cm×奥行90cm×高さ74cm)です。

※ 電源使用について

- 申込み時に電源使用の希望をされた方は、会場内で電源(100V)が使えます。
- 電源は、壁上部にある分電盤(高さ約2m)側面のコンセントから取って下さい。分電盤の位置は「会場案内図」を参照して下さい。
- 各スペースへの配線は一切しておりません。分電盤から自分のサークルスペースまでに必要な長さを概算の上、各自で延長コード・増設コンセント・電源ドラムなどを、なるべく多めに用意して下さい。
- 開場当初は電源が供給されていません。全ての機器の接続が完了し、会場側担当者による確認が完了してから、電源の供給が開始されます。したがって、電源を使用されるサークルは、なるべく早目に会場に到着して、機器の準備を済ませるようにして下さい。(遅れると、他の電源使用サークルの方々にも迷惑を掛けることとなります)。
- また、電源供給開始が遅れる可能性もありますので、開会前にパソコンなどでCD-ROMなどの頒布物を会場内で作成することについては、期待しないで下さい。

◇ サークル受付(10:00～)

- 本部受付にて出展参加者の受付をいたします。受

付開始は場内放送でお知らせしますので、放送が入りましたら、サークルの代表者は本部受付までおいで下さい。当日案内パンフ・出展参加者アンケートなどをお渡しいたします。

- 申込み時に**電源使用**の希望をされた方は、電源使用料(¥100)を受付時に徴収いたします。
- 申込み時に**追加椅子**の希望をされた方は、追加椅子使用料(1脚¥300)を受付時に徴収いたします。
- 追加椅子の当日販売は、椅子の残数がある場合に限り、先着順にて受け付ける予定です。場内放送でお知らせします。

※ 見本誌について

- 見本誌の提出は必要ありません。

※ チラシなどについて

- サークルスペースへのチラシなどの配布は、10:00～10:50に限り許可します。ただし、配布する前に見本を1部、本部受付に提出して下さい。
- また、会場内に「チラシ置場」を設置しますので、ご自由にご利用下さい。ただし、置く前に見本を1部、本部受付に提出して下さい。また、閉会後に残ったチラシは責任を持って回収して下さい。

◇ 開会(11:00)

- **頒布・配布・展示は各自のスペースのみで行なって下さい。**通路や会場外(ロビーなど)では禁止します。
- 頒布・配布・展示についての全責任は、出展サークルが負うものとします。
- スペースでBGMなどを流すことは出来ません。ただし、頒布物の試聴程度でしたら構いません。
- 過度な呼び込み・押し売りなどの強引な頒布をされた場合や、スペース外で配布・頒布などされた場合は、即時退場・次回以降の参加お断りとする場合があります。
- 閉会時間より前に帰られる方は、各自のスペースを綺麗に片付けてからお帰り下さい。机・椅子などはそのまま結構です。なお、本部受付に一声かけてからお帰り下さるようお願いいたします。

◇ 閉会(15:30)

◇ 撤収(16:00～)

- 毎回、撤収にもご協力いただきありがとうございます。今回もまた、時間に余裕のある方は、無理のない範囲で結構ですので、ご協力をお願いします。
- なお、作業の詳細についてはスタッフにお問い合わせ下さい。

◆ その他、一般的なこと

- 当日、業務中のスタッフは腕章とネームプレートを付けています。
- ゴミは各自でお持ち帰り下さい。会場内にゴミ箱はありません。
- 会場内は禁酒・禁煙です。
- 会場には**駐車場がありません**。自動車でお越しの場合は、周辺の公共・民間駐車場をご利用下さい。なお、会場周辺では路上駐車などの取り締まりが頻繁に行なわれています。

◆ 宅配便搬入について

- 事前に、会場宛に宅配便で荷物を搬入できます。
- 「**5/4 午前(10時必着)**」に到着するよう、**お届け日を指定**して送って下さい。
- 送料着払いでの搬入は、受取を拒否いたします。
- 万一の配達事故の際などに必要ですので、送り状の控えを必ず保管し、当日お持ち下さい。
- 「**東京のりもの学会**」は、配達事故・配達遅延に関して一切責任を負いません。

【お届け先住所】

〒105-0022

東京都 港区 海岸 1-7-8

都立産業貿易センター 2階

【お届け先氏名】

5月4日「東京のりもの学会」

【お届け先電話番号】

差出人(当日責任者など)の携帯電話番号

【品名】

サークル名も必ず明記

◆ 宅配便搬出について

- 当日、会場から宅配便で荷物を搬出できます。
- 16:00をめぐりに、ヤマト運輸(宅急便)などが会場に集荷に来るのが恒例です。
- 会場近くのコンビニを利用することもできます。

◆ お問い合わせ先

「東京のりもの学会」についてのご質問・ご連絡などは、下記にて受け付けています。

電子メール: tipt@qdat.jp

公式ページ: <http://www.qdat.jp/tipt/>

電話(当日のみ): 03-3434-4245 (会場直通)

それでは、5月4日に都立産業貿易センターでお会いしましょう。スタッフ一同、皆様とお会いできることを楽しみにしています。

「東京のりもの学会」事務取扱 木下博明

2007年4月20日発送

※ 誠に勝手ながら、今回の送付をもって、参加申込受付通知に代えさせていただきます。

「東京のりもの学会」第10回・2007年会

委託参加マニュアル

2007年5月4日(金・祝) 11:00~15:30

東京都立産業貿易センター浜松町館・2階展示室

「東京のりもの学会」へ委託参加をお申込みいただき、誠にありがとうございました。

◆今回の同封物

- ①「委託参加マニュアル」
- ②「委託参加納品書」
- ③「返品用宅急便伝票」(着払)
- ④「頒価表示用シール」

内容物の不足や出展内容の不備などがありましたら、お手数ですが、大至急お問い合わせ下さい。

◆お願い

このマニュアルをよく読んだ上での納品をお願いいたします。

なお、事前の準備に不備があった場合は、それなりの対応をいたします。委託頒布ができない場合もありますので、ご了承下さい。

わからないことがあった場合は、遠慮なく、事前にお問い合わせ下さい。

◆参加基本規定

「東京のりもの学会」は、公共交通と旅行に関する自主制作誌・自主制作グッズの個人趣味レベルでの合同発表展示即売会です。法人・企業などの出展参加はお断りいたします。「東京のりもの学会」の趣旨をご理解の上、各人の良識のもとに作品の展示・頒布をお願いします。

◆出展ガイドライン

委託参加では、本と本に類するもの(CD・テープなど)以外は展示・頒布が出来ません。

以下の物の頒布は原則としてお断りいたします。

- 公共交通と旅行に関する話題を扱っていない物。(頒布物の一部が扱っていればOKです)
- 他人の著作物。(著作権者から直接委託された場合はOKです)
- 著作権法などの法令・条例に著しく違反する物。
- 古本・古雑誌・鉄道部品・中古品・転売品など、古物全般。
- 市販品や、既存の流通ルートを経由して頒布されているなど、市販品と判断される物。(ISBNコードや雑誌コードが付いている物はダメです)
- その他、スタッフが頒布に適当でないと判断した物。

◆事前の準備

1) 委託頒布予定リストの送信

- 委託頒布の準備作業のため、サークル名・品名・頒布予定数・頒価のリスト(書式自由)を、4/29 までに、tipt@qdat.jp までメールして下さい。

2) 展示用見本誌の作成

- 頒布品1種類につき1部を、展示用見本誌として用意します。これは、当日来場者にあなたの作品の内容を知ってもらうためのものです。当日、会場内にて展示されます。
- 見本誌には、ブックカバーや帯などをつけても構いません。なお、サークル名と頒価を記入した付箋をこちらでつけて展示する予定です。
- 展示後の見本誌は、「東京のりもの学会」終了後、頒布品の残部と一緒に返却します。
- ただし、頒布品が完売した場合に、展示用見本誌も頒布してしまうことを希望する場合は、「納品書」の一言欄に「見本誌も頒布希望」と書き添えて下さい。

3) 頒布品の準備

- 同封されている「④頒価表示用シール」に頒価を記入して、**頒布品の1部ずつに頒価を表示**して下さい。
- このシールは、表紙が裏表紙に貼って下さい。
- シールを剥がした跡が気になる方は、頒布品を1部ずつビニール袋などで包んだ後にシールを貼っていただいても構いません。
- このシールは予備を含めた数を送付していますので、注意して下さい。

4) 委託参加納品書の作成

- ②「委託参加納品書」に必要事項を記入して下さい。
- 納品数は、見本誌を含まない分の冊数を記入して下さい。1種類につき40部まで納品できます。ただし、見本誌はこの40部の中に含みません。
- ※欄には記入しないで下さい。
- 記入が終わったら、必ずコピーをとった上で、原本を頒布品の箱に同封して下さい。コピーは、売上金が送金されるまで、大切に保存しておいて下さい。

5) 返品用宅急便伝票の準備

- ③「返品用宅急便伝票」に必要事項を記入して下さい。この伝票は、頒布品の残部の返送にそのまま利用します。
- <お届け先>欄に、返品先の住所・氏名・電話番号を記入して下さい。
- <品名>欄に、あなたのサークル名を記入して下さい。
- 配達日や到着時間帯を指定したい場合は、右側の<ご希望のお届け日><お届け時間帯>にも記入して下さい。
- 記入が終わったら、頒布品の箱に同封して下さい。

6) インフォメーションペーパーなどの準備

- 頒布品とともに、インフォメーションペーパーなどのチラシを置くことが出来ます。このチラシは見本誌と一

緒に展示し、来場者に自由に持って行ってもらいます。チラシなどを置きたい場合は、頒布品の箱に同封して下さい。

- 同封されたチラシの残部は、「東京のりもの学会」終了後、頒布品の残部と一緒に返却します。
- 今回の当日来場者数は700名程度を予定しています。毎回、チラシは50～100部程度がはけているようです。

7) 梱包

- 頒布品などを、適当な大きさの「箱」に入れて梱包して下さい。原則として同じ梱包物を利用して残部を返品しますので、必ず「箱」を利用して下さい。
- 荷物の一番上に、②「委託参加納品書」と、③「返品用宅急便伝票」を置いて下さい。
- 万一、輸送途中で雨に濡れたりしても心配ないように梱包して下さい。

8) 納品

- 「5/4 午前(10時必着)」に到着するよう、お届け日を指定して送って下さい。
- 送料着払いでの納品は、受取を拒否いたします。
- 万一の配達事故の際などに必要ですので、送り状の控えはそちらで必ず保管して下さい。
- 「東京のりもの学会」は、配達事故に関しては一切責任を負いません。

【お届け先住所】

〒105-0022

東京都 港区 海岸 1-7-8

都立産業貿易センター 2階

【お届け先氏名】

5月4日「東京のりもの学会」委託

【お届け先電話番号】

差出人(当日責任者など)の携帯電話番号

【品名】

サークル名も必ず明記

-
- 以上の方法以外で納品された場合は、委託参加をキャンセルされたものとみなすことがあります。悪しからずご了承下さい。

◆開催後の流れ

1) 残部の返品

- 頒布品の残部は、「東京のりもの学会」終了後3日以内に、③「返品用宅急便伝票」を利用して、着払いにて返送します。
- 返送時に、返品数などを記載した「返品計算書」を同封しますので確認して下さい。「返品計算書」の返品数などに間違いなどがあつた場合は、末尾の連絡先まで至急ご連絡下さい。
- 5/13までに返品が届かない場合は、末尾の連絡先まで至急ご連絡下さい。

2) 売上金の支払い

- 頒布代金の支払いは、郵便振替を利用して、送金手数料(実費)を差し引いてお支払いします。
 - ① 郵便振替口座をお持ちの場合

- (ア) ②「委託参加納品書」の口座欄に必要事項を記入して下さい。
- (イ) 一般郵便振替口座(口座番号が0から始まる)を記入された場合は「通常振替」でお支払いします。送金手数料は15円です。
- (ウ) ぱるる口座(口座番号が1から始まる)を記入された場合は、「電信振替」でお支払いします。送金手数料は110円です。

② 郵便振替口座をお持ちでない場合

- (ア) ②「委託参加納品書」の口座欄への記入は不要です。
- (イ) 郵便振替の「通常現金払」でお支払いします。送金手数料は、送金額が1万円以下なら140円。1万円を超えると230円です。

- どの送金方法の場合でも、「東京のりもの学会」は5/13までに精算の請求を行いません。この請求から実際に精算手続きが行われるまでに10日ほどかかる場合があります。

- 5/25までに精算手続きが到着しない場合には、お手数ですが、末尾の連絡先まで至急ご連絡下さい。

◆ お問い合わせ先

「東京のりもの学会」についてのご質問・ご連絡などは、下記にて受け付けています。

電子メール: tipt@qdat.jp

公式ページ: <http://www.qdat.jp/tipt/>

電話(当日のみ): 03-3434-4245 (会場直通)

スタッフ一同、皆様の頒布品とお会いできることを楽しみにしています。よろしく願います。

「東京のりもの学会」事務取扱 木下博明
2007年4月20日発送

※ 誠に勝手ながら、今回の送付を持って、参加申込受付通知に代えさせていただきます。

「東京のりもの学会」第10回・2007年会 ②「委託参加納品書」(返品計算書)

記入日	2007年 月 日	記入者名			
サークル名					
誌名	納品数 (除:見本誌)	頒価	※残数	※頒布数	※金額
①					
②					
③					
④					

↑※欄は記入しないで下さい。

なにか一言あればどうぞ……。

売上金 送付希望口座 記入欄

サークル名				
郵便振替	口座記号番号		加入者名	

※実物を約97%に縮小しています。

「東京のりもの学会」第10回・2007年会 出展参加案内

「東京のりもの学会」は、公共交通や旅行の話題を扱った自主制作誌(同人誌・自費出版等)・自主制作グッズ(CD・カード・模型等)を作っている、個人・サークル・研究会などの合同発表・展示・即売会です。前回の「第9回・2006年会」は、2006年5月6日(土)に都立産業貿易センター2階にて、100サークルを越えるサークル参加と750名を大きく越える参加者があり、盛況の内

◆募集要項

【直接参加】1スペース ¥2000-(机半分+椅子1脚)

- 1サークル(同一申込み責任者)で2スペースまで申込み可能です。申込み状況により、1スペースへの変更をお願いすることがあります。その際の参加費の精算は、当日いたします。
- 2つ以上のサークルが隣接したスペースを取る合体参加希望の場合は出展参加申込書に相手先のサークル名を全て記入して下さい。
- 1スペースに1脚まで椅子を追加できます。当日、追加椅子使用料(1脚 300円)を徴収いたします。
- 電源使用サークルは、電源使用料(100円)を当日徴収いたします。
- 抽選は原則として行いません。
- 詳細は、参加サークルに送付する「出展参加マニュアル」をご覧ください。
- 模型、写真展示等の企画参加を希望される方は、参加費を払込む前に具体的な企画案を用意の上、下記問合せ先までお問合せ下さい。

【委託参加】1種類 ¥500-(1サークル4種類、各4部まで)

- 直接参加できないサークルに代わり、QDATが代理頒布いたします。
- 委託頒布物の送付・返却や頒布代金の送金などに関する費用は委託サークルの負担となります。
- 本とそれに類するもの(CD、テープ等)以外は頒布できません。
- 詳細は、申込み受付後に送付する「委託参加マニュアル」をご覧ください。

【展示参加】1種類 ¥200-

- 会場内の展示参加スペースに見本誌と案内パンフ(サークル紹介や通信頒布案内等)を置く形になります。委託頒布ではありません。
- 上記以外の参加条件は、委託参加と同様になります。
- 詳細は、申込み受付後に送付する「展示参加マニュアル」をご覧ください。

◆出展ガイドライン

「東京のりもの学会」は個人趣味レベルでの自己表現の場です。

- 法人・企業などの出展参加はお断りいたします。
 - また、以下の物の頒布は原則としてお断りいたします。
 - 公共交通と旅行に関する話題を扱っていない物。……頒布物のなかの一部が扱っている場合を除きます。
 - 他人の著作物。及び著作権法などの法令・条例に著しく違反する物。
 - 古本・古雑誌・鉄道部品・中古品・転売品など、古物全般。
 - 既存の流通ルートを経由して頒布されている物(ISBNコードや雑誌コードが付いている物)等、市販品と判断される物。
 - その他、スタッフが頒布に適当でないとして判断した物。
- ※判断に迷ったりした場合には、右記問合せ先にお問合せ下さい。

それでは、スタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしております。

に開催する事が出来ました。スタッフ一同、御礼申し上げます。
さて、第10回となる2007年会は、都立産業貿易センター2階にて、ゴールデンウィークの5月4日(金・休)に開催する事となりました。以下に出展参加についてご案内いたします。
なお、東京のりもの学会はこの第10回を最後に、以降の開催を休止させていただきます。皆様の参加をお待ちしております。

◆申込方法

1. 参加費の払込み

- 下記の締切までに、以下の郵便振替口座に左記参加費を払込んで下さい。
口座番号: 00120-5-408238 加入者名: QDAT
払込票の通信欄には以下の3点を、はっきりと記入して下さい。
- ① サークル名、申込責任者氏名(ふりがな付き)
- ② 参加形式(直接参加○スペース/委託参加○種類/展示参加○種類)
- ③ 連絡先電子メールアドレス(お持ちでない場合は結構です)
- 電信払込みは利用せずに、通常払込みをして下さい。
- 受領証は当日まで必ず保管して下さい。
- 払込まれた参加費は、原則として返金いたしません。
- 上記以外の方法で払込まれた場合や記入不備がある場合には、カンパとして取り扱うことがあります。

2. 「出展参加申込書」の郵送

- 下の「出展参加申込書」(コピー推奨)の所定事項全てに、はっきりと記入して、切り取って申込み先まで郵送して下さい。
- 参加費の払込みが確認された「出展参加申込書」が当方に到着した時点で、参加申込みを受け付けます。
- 郵便事故については、当方では一切責任を負いません。
- ご質問・ご要望等ありましたら、下記問合せ先までお問合せ下さい。
- オンライン申込みも受け付けております。
詳しくは公式ページ(<http://www.qdat.jp/tipt/>)をご覧ください。

◆当日までの予定と申込み締切

申込受付開始日: 2007年1月1日(月・祝)
参加費払込み締切日: 3月26日(月)
「出展参加申込書」郵送締切日(消印有効): 3月26日(月)
オンライン申込締切日: 3月28日(水)
「出展参加マニュアル」等の発送予定日: 4月23日(月)
※4月28日までに到着しない場合にはお問合せ下さい。
開催当日: 5月4日(金・休)

◆問合せ先・申込み先

郵便: 〒653-0037 神戸市長田区大橋町4-4-9-103 新長田駅前郵便局留
木下方「東京のりもの学会」
電子メール: tipt@qdat.jp 公式ページ: <http://www.qdat.jp/tipt/>

※申込書右下端に、開催当日に発行予定の「東京のりもの学会第10回開催記念誌(仮題)」に掲載するための「寄せ書き欄」を設けました。
過去の参加時の思い出等、イラスト等も含めご自由に記入下さい。
出展参加申込者以外の方から当欄のみの申込みも受け付けます(無料)。
なお、掲載の採否はQDATに一任下さい。

切り取り線

QDAT/TIPT 2006.12

「東京のりもの学会」第10回・2007年会 出展参加申込書

上の「募集要項・申込方法」をよく
読んで申込み下さい。(締切3月26日)

ふりがな サークル名		申込責任者住所(都道府県から) 〒 -	
ふりがな 申込責任者氏名	年齢	電子メール URL 公式ページから リンクします http://	@
電話(携帯可) () -	下(左側)のPRカット欄はタテヨコ各4cmの原寸です(コピー可・寸法厳守)。 左上の1cm角部分は空欄にして下さい。またカット内に必ずサークル名を入れて下さい。 鉛筆、写真、カラーは使用不可です。このPRカットは当日案内パンフにそのまま掲載 されます。サークル紹介や出展内容等を自由にPRして下さい。		
参加形式 【 】内に希望数記入	直接参加【 】スペース 委託参加【 】種類 展示参加【 】種類	PR カット	第10回記念誌 寄せ書き欄(任意) 「第10回記念誌」に下の枠(上はサークル名・ペンネーム欄 です)に記入載せたカットをそのまま掲載します。鉛筆、写真、 カラーは使用不可です。なお、掲載の採否はQDATに一任下さい。
追加椅子希望【 】脚	電源使用希望 <input type="checkbox"/>		
サークル紹介 公式ページに掲載します。 別紙記入も可。合体参加の 相手サークル名もこちら			
参加ジャンル 必ず一つ選択して下さい	旅行 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 船舶 <input type="checkbox"/> 模型 <input type="checkbox"/> 航空 <input type="checkbox"/> 等 <input type="checkbox"/>		